

2024年（令和6年）度事業報告書

特定非営利活動法人 インファクト

I 事業期間

2024年1月1日～2024年12月31日

II 事業の成果

- 2024年に公表した記事は全部で46本。多くがファクトチェック記事で、他にウクライナからの現地ルポ、沖縄戦についての調査報道も報じた。
- 新型コロナ対策に関する誤った情報、政治とカネをめぐる誤った情報、福島第一原発の処理水をめぐる情報についてのファクトチェックが2024年度のファクトチェックアワードで優秀賞及び特別賞を受賞した。
- 政府が進めるデジタル情報の健全化の議論に参加し、ファクトチェックには政府からの独立性が求められることを主張し、ファクトチェックを政府機関の一部として扱うことを許容する議論の方向性を修正させた。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

事業① ファクトチェック普及活動

（内容）大学生などの若者を対象としたファクトチェックの取り組みを実施し、このうち京都薬科大学、同志社大学、立命館大学の学生が参加し、継続してファクトチェックに取り組むプロジェクトとなっている。

事業② ファクトチェックの理解を広めるシンポジウムの開催

2024年8月12日にウエビナーを主催。ファクトチェックとはどうあるべきかについて有識者を交えて議論を行った。

事業③ アメリカ大統領選挙の報告会

（内容）2024年11月5日（現地時間）に行われたアメリカ大統領選挙について現地取材した状況について報公會を大阪市内で開催した。

事業④ 大手メディアを通じたジャーナリストとしてのものの見方の紹介

（内容）インファクトで取り組んでいる取材に基づいたものの見方、政治的な立ち位置に立たずにファクトに基づいた判断をすることの重要性を大手メディアでも伝えた。特に、主婦を対象としてファクトの重要性を発信することに務めた。

毎日放送「よんチャンTV」 水曜日レギュラーコメンテーター

毎日放送ラジオ「立岩陽一郎のファクトチェックラジオ」（不定期）

フジテレビ「めざまし8」火曜日レギュラーコメンテーター
婦人公論「NEWS WATCHING」不定期連載
日刊ゲンダイ・デジタル「漂流するメディア」連載

IV 社員総会の開催状況

(日時) 3月30日 14時～15時

(場所) 当事務所及びオンライン

(社員総数) 11名 出席者数 11名

(内容) 第1号議案 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び活動報告書付議の件、
第2号議案 監事辞任に伴う改選の件

議長より議事録署名人として、立岩陽一郎、豊村八千代の2名を指名したいとの提案があり、これを諮ったところ全員異議なく承認した。全議案とも審議の結果満場一致で可決承認された。